

理科 中学校 第1学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		科学的な思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解	
第一分野	1	1	1	音が空気の振動で伝わることを理解している。			○	76.1
		2	2	雷の音が光よりも遅れてくることを、伝わる速さの違いから考え、説明することができる。	○			66.6
		3	3	観測点から雷までの距離は、音の速さと伝わるまでにかかった時間から計算できることを理解している。			○	85.0
	2	1	4	物体にはたらく重力を力の矢印で表す方法を身に付けている。		○		77.6
		2	5	同じ質量の物体について、底面積のもっとも小さいものがスポンジに深くめり込むことを理解している。			○	78.2
		3	6	物体にはたらく力の大きさと圧力について考えることができる。	○			62.9
		4	7	圧力を求める式を理解している。			○	34.2
		5	8	圧力の大きさが接触面積によって変わってくることを、身のまわりの現象と結び付けて考え、説明することができる。	○			52.1
	3	4	12	水上置換以外の二酸化炭素の捕集方法（下方置換）を身に付けている。（設問1, 2, 3は削除）		○		36.1
	4	1	13	ロウが液体から固体になったときの体積変化について理解している。			○	65.5
		2	14	ロウが液体から固体になったときの質量変化について理解している。			○	57.2
		3	15	ガスバーナーの正しい操作を身に付けている。		○		65.5
		4	16	水が氷になったときの体積変化と質量変化について理解している。			○	60.2
		5	17	水が凍るときの体積変化から、ビン入りジュースを凍らせてはいけないわけを考えることができる。	○			68.0
	第二分野	5	1	18	顕微鏡の操作手順を身に付けている。		○	
2			19	顕微鏡の各部の名称を理解している。			○	83.2
3			20	植物の葉の断面に見られる葉緑体の数の違いから、葉の表側と裏側を判別することができる。	○			78.4
4			21	葉の断面を観察するときの葉の切り方を身に付けている。		○		47.4
6		1	22	日光によく当てた葉と当てなかった葉を準備する理由を理解して、日光によく当てた葉にでんぷんができていないかを調べる実験を行うことができる。		○		87.6
		2	23	葉をあたためたエタノールに入れる理由を理解して、日光によく当てた葉にでんぷんができていないかを調べる実験を行うことができる。		○		90.9
		3	24	葉緑体のはたらきとヨウ素液の反応を関係付けて考えることができる。	○			89.0
7		1	25	ルーペの正しい扱い方を身に付けている。		○		78.8
		2	26	種子を遠くに運ぶことに役立っていることを、タンポポの綿毛のはたらきと関係づけて考えることができる。	○			79.8
		3	27	植物の葉のつき方と光合成の関係について考え、植物の葉が日光を受けやすいつき方になっていることを説明することができる。	○			86.4
8		1	28	火山灰には、鉱物と呼ばれる結晶状の粒が含まれていることを理解している。			○	18.5
		2	29	溶岩の表面にある細かい穴ができたわけについて考えることができる。	○			68.7